

循環器診療のご案内



榊原記念病院の目指す医療

患者様・ご家族の ニーズを理解し、 納得される医療

- 胎児から高齢者の心臓血管病に対応します。
- 生活の質、退院後の健康維持・増進を大切にします。
- 心臓病総合支援センターが患者様の生活と地域を支援します。

国際的に 認知される水準の 専門医療

- 年間1,500件以上の心臓血管外科手術、3,400件のカテーテル治療で対応しています。
- 安全性を優先して高度医療を行います。

沿革

1967年6月
財団法人日本心臓血管研究振興会設立

1977年11月
榊原記念病院 開設 渋谷区代々木

1982年10月
榊原記念クリニック 開設 新宿区西新宿

1983年4月
榊原記念クリニック分院検診センター 開設 新宿区西新宿

2003年12月
榊原記念病院 移転 府中市朝日町

2011年2月
公益財団法人に認定

2022年4月
法人名を公益財団法人 榊原記念財団に改称

地域のニーズに 応じた救急医療や 災害医療

- 24時間365日断らない循環器救急診療を目指します。
- 近隣の医療機関へはモバイルCCU(高規格ドクターカー)でお迎えに上がります。

地域に開かれた 診療

- 地域医療支援病院としてかかりつけ医や紹介病院と密接な医療連携を行います。
- 相談窓口、復職支援、市民講座など地域への支援、交流を大切にしています。
- SDGs(健康、福祉)の課題解決を目指した社会活動を行っています。

専門職の育成と 臨床研究

- 確実な技術と豊かな人間性を持つ医療人の育成を目指しています。
- 循環器病の診断・治療・予防法の開発に向けた臨床研究を行っています。

概要

理事長：矢崎 義雄
病院長：磯部 光章
許可病床数：307床
職員数：約870名(非常勤を含む)
常勤医師数約100名
診療科：循環器内科、心臓血管外科、内科、外科、小児科、小児外科、産婦人科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科
指定・認可：地域医療支援病院
災害拠点連携病院

患者満足度

毎年患者満足度調査(日本医療機能評価機構)を実施し、診療の質向上、患者満足度向上に努めています。

国際的評価

2022年Newsweek誌の国際病院ランキングで循環器内科・心臓外科ともに紹介されました。



救急医療

2022年SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞 医療の部(24時間・100%受け入れを目指して救急医療体制を敷き、成果を上げている)を受賞しました。

診療科・職種を超えた チーム医療

循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・ICU・多職種のチームで急性期治療・待機治療に対応しています。
安全・低侵襲をモットーに一人ひとりの患者様の病状に応じた内科治療・カテーテル治療・手術を実施しています。

虚血性心疾患

合併疾患や重症・複雑化への適切な対応

冠動脈疾患は高齢化が進み、合併疾患も多く、重症・複雑化しています。榊原では、自覚症状と精密な虚血評価を組み合わせ、多職種合同カンファレンスで最適な治療法を決定しています。特に低侵襲による術後の生活の質を重視しています。

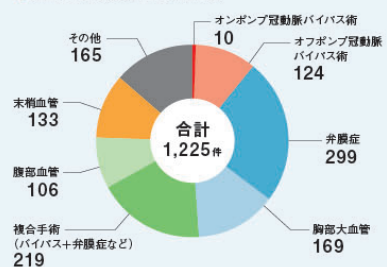


循環器内科 主任部長
七里 守

年間1,200件以上の成人心臓血管手術数

成人心臓血管手術のうち、冠動脈疾患は約200件、心臓弁膜症は約300件です。冠動脈バイパスのほとんどはオフポンプ（心拍動下手術）。150件はMICS（低侵襲心臓手術）で行っています。

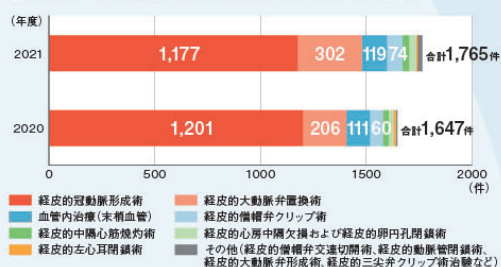
■ 2021年度 成人外科手術件数



年間2,800件以上の成人カテーテル治療実績（不整脈を含む）

冠動脈、弁膜症それぞれに特化した専門チームが治療に当たります。特に大動脈弁・僧帽弁のカテーテル治療が増加しています。全国に先駆けて経皮的肺動脈弁置換術（TPVR）を導入しました。新しい治療を積極的に活用し、患者様ごとに最適な低侵襲かつ安全な治療を行っています。

■ 成人カテーテル治療件数（冠動脈・構造的な心疾患・末梢血管）



心臓弁膜症

増加し、複雑化する弁膜症に対し、患者様ごとに最適な治療法を選択

カテーテル治療はカテーテル専門医、心臓血管外科医、麻酔医、心エコー医がワンチームとなって行っています。また透析症例や高齢者の経皮的弁置換術（TAVI/TAVR）も多く手がけています。弁置換、弁形成手術は4K-3D内視鏡を用いたMICS（低侵襲心臓手術）でも行っています。術後は集中治療室や理学療法士などの多職種が早期回復を支えます。治療法は多様です。治療適応の有無についてご相談ください。

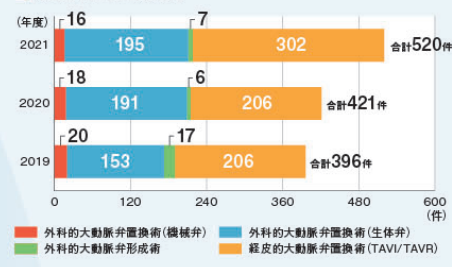


心臓血管外科 成人 主任部長
下川 智樹

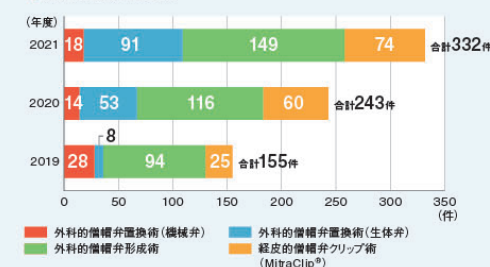
最近3年間の弁膜症治療の推移と内訳

大動脈弁・僧帽弁とも手術では生体弁置換術が増加しています。カテーテルによる治療では経皮的弁置換術（TAVI/TAVR）、経皮的僧帽弁クリップ術（MitraClip®）が増加しています。

■ 大動脈弁治療件数推移



■ 僧帽弁治療件数推移



増加する虚血性心疾患、弁膜症、心不全、不整脈、大動脈疾患、閉塞性動脈硬化症はもとより、肺高血圧症、心筋炎、遺伝性心血管疾患、心臓サルコイドーシスなどの二次性心筋症、高安動脈炎などの比較的希少な疾患まで適切に対応いたします。

心臓血管の「念のため」の健康チェックも歓迎します。早めの受診をおすすめします。

初診から治療まで、お待たせしない診療を目指しています。



心臓血管外科／小児科診療

小児および成人先天性心疾患、成人開心手術、末梢血管手術など年間1,500件以上の心臓血管手術を実施しています。

疼痛管理、創部ケア、メンタルケアを大切に、早期退院、術後の自立、復職など生活の質を重視しています。

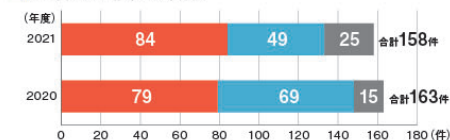
術前、術後を通じて、循環器内科医・心臓血管外科医のダブル主治医制により、きめ細やかな管理を行っています。

MICS (低侵襲心臟手術)

術後の負担を軽減する低侵襲手術を行っています

心臓手術後の生活の質を左右するのは、切開創の広がりや部位です。心臓弁膜症手術やバイパス手術などで、術後の傷も目立たず、出血が少なく、感染リスクも低く抑えられる4K・3D内視鏡を用いた低侵襲手術を積極的にを行っています。切開創が小さいため、術後の運動制限が少なく、早い方は術後7日間程度で退院が可能です。

■ 低侵襲心臟手術(MICS)件数



■ MICSによる切開創の一例

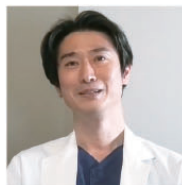


30歳代男性
僧帽弁閉鎖不全症に
対して乳頭下の肋間
小切開によるMICSで
僧帽弁形成術を施行

小児心疾患手術

短時間・無輸血・小切開・低侵襲の手術を目指しています

榑原先生以来の伝統を受けついで、単純なシャント性心疾患はもとより、重症例まで手術しています。産婦人科との協力により出生前から治療計画を立てます。特に先天性心疾患の手術は複雑な心内修復術から、単心室、大動脈と肺動脈を入れ替える手術まで対応しています。



心臟血管外科 小兒 主任部長
和田 直樹



特任副院長 心臟血管外科 小兒
高橋 幸宏

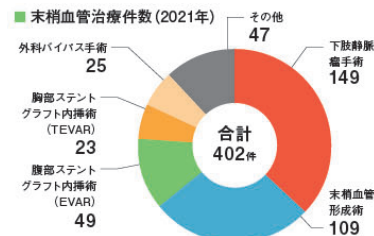
末梢血管外科

外科・内科のチームが対応します

様々な大動脈疾患、末梢動脈疾患、静脈疾患に対応しています。大動脈ステントグラフト、閉塞性動脈硬化症の手術と血管内のハイブリッド治療も行います。静脈瘤では日帰り手術が可能です。



末梢血管外科 主任部長
新本 春夫



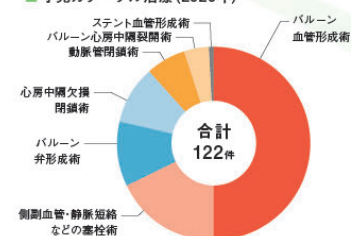
成人先天性心疾患センター (ACHDセンター)

新生児から成人まで、患者様の
一生をカバー

3名の専門医と小児科、循環器内科、心臓血管外科、産婦人科、臨床心理士、理学療法士など多職種チームが診療します。多様なカテーテル治療を実践します。円滑な移行医療を行い、心臓病総合支援センターが社会福祉士と、両立支援コーディネーターとともに生活支援、就業・就学支援に取り組んでいます。



成人先天性心疾患センター長
矢崎 諭



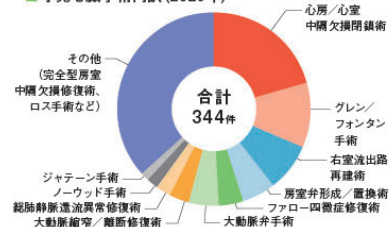
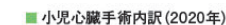
小児科

多様な心疾患を診療します

新生児から成人までの先天性心疾患、小児期発症の後天性心疾患、川崎病後遺症、不整脈、心筋疾患など、循環器領域全般にわたって診療しています。



小児科 主任部長
嘉川 忠博



循環器 救急診療

緊急手術、緊急カテーテル治療に24時間フルタイムで常駐する専門医が対応するとともに、お断りすることなく入院治療を行います。東京都CCUネットワーク・大動脈スーパーネットワークの参加施設です。2022年SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞 医療の部 (24時間・100%受け入れを目指して救急医療体制を敷き、成果を上げている) を受賞しました。

救急診療

年間4,000件以上の循環器緊急患者様を受け入れています

2021年は成人290件、小児35件の緊急手術、354件の急性冠症候群の緊急診療に対応しました。東京都CCUネットワークで最多の急性冠症候群患者を受け入れています。

モービルCCUをご利用ください

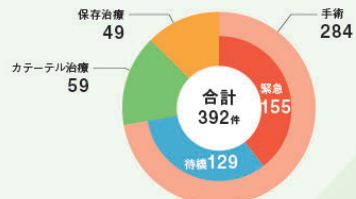
モービルCCU (高規格ドクターカー) を導入し、循環器救急医療に活用しています。片道30分圏内の医療機関からの救急要請に応じて、医療チームが直ちに出勤し、搬送中から救急車内での早期治療を可能にしています。



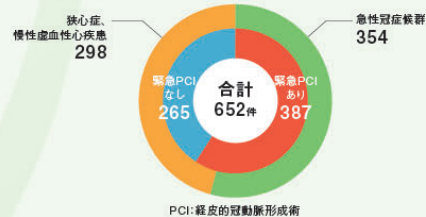
192件の大動脈緊急症を受け入れ (2021年度)

東京都大動脈スーパーネットワーク重点病院に指定されています。2021年に受け入れた大動脈緊急症 (大動脈解離・大動脈瘤破裂) 192件のうち、155件に緊急手術を行いました。

大動脈疾患の治療 (2021年)



救急入院した冠動脈疾患 (2021年度)



救急搬送された大動脈解離の内訳 (2021年)



Stanford A: 上行大動脈に解離があり、原則緊急手術を行う。
Stanford B: 上行大動脈には解離がなく、原則保存治療を行う。

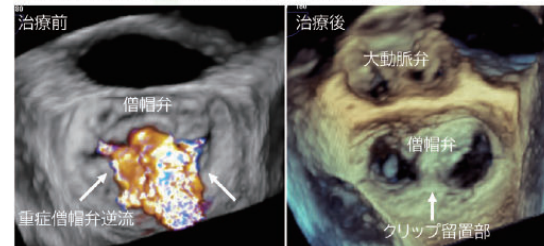
画像診断機器と 技術スタッフ

心臓病や大血管疾患を正確に診断するために、診断装置とアプリケーションの更新を続けています。これらの装置を用いた診断は循環器疾患のスペシャリストである画像診断医、放射線技師、臨床検査技師が行っています。お待たせしない予約に努めています。

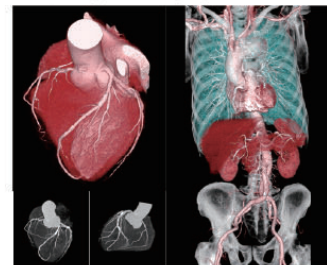
画像診断

2層球型CT、1.5テスラMRI、半導体検出器を用いたシンチカメラなどの放射線診断機器、多数配備された心エコー装置 (経食道、3Dを含む) などによる画像情報に加え、心肺運動負荷 (CPX)、睡眠時無呼吸検査などを含めた多角的な検査法を駆使して、安全、低侵襲で正確な診断を目指しています。外来では心エコーは即日施行、他の画像検査も緊急撮影が可能です。

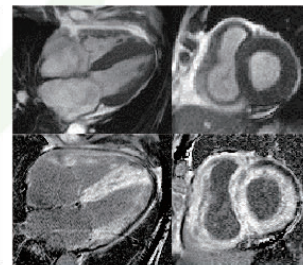
経皮的僧帽弁クリップ術 (MitraClip®) の術中経食道心エコー図



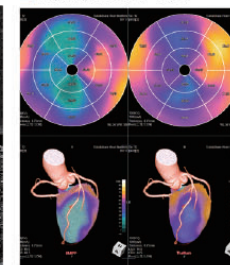
冠動脈造影CT・胸腹部造影CT



心臓MRI



心筋血流シンチグラフィ



産婦人科／臨床遺伝科診療

母体心疾患、胎児心疾患を、循環器小児科、心臓血管外科、循環器内科と協働して診療しています。

先天性心疾患は胎児のうちから診療を始めます。

専門医が妊娠前カウンセリング、遺伝カウンセリングに対応します。

心臓血管病をお持ちの女性の健康を支援します。

地域に根づいた産婦人科として、すべての妊婦さんに安全で快適な分娩を提供できるよう努めています。

産婦人科

心臓血管病をお持ちの女性の妊娠・分娩をサポートします

妊娠前のご相談から、出生前診断（NIPT）、心臓専門医による胎児エコー、無痛分娩、産後ケアに対応します。特に心疾患をお持ちの妊婦さんや、胎児に心疾患のある妊婦さんの安全・安心な妊娠・分娩をサポートします。心臓病をお持ちの女性のバースプラン、カウンセリング、婦人科診療を通じて健康を支援します。通常の妊娠管理・出産にも力を入れています。



産婦人科 副部長
堀内 緑

臨床遺伝科

先天性の病気や遺伝病の診断、遺伝カウンセリングを行っています。特にマルファン症候群、遺伝性不整脈、心筋症など循環器系遺伝病の診療をしています。遺伝学的検査の認定施設として、各種遺伝子診断、カウンセリングにも力を入れています。これまでにマルファン症候群などの遺伝子診断は250件以上、NIPTは1,100件以上の実績があります。



臨床遺伝科 認定遺伝カウンセラー
森崎 裕子 大類 いずみ

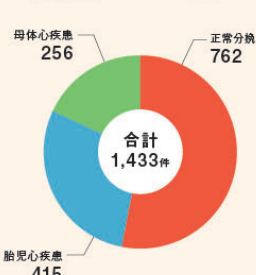
母体心疾患の内訳

先天性心疾患	49% (ファロー四徴症、完全大血管転位症など)
不整脈	20% (QT延長症候群、ICD留置など)
弁膜症・心筋症	19% (機械弁合併症など)
虚血性心疾患	7% (川崎病、冠動脈瘤など)
大動脈疾患	5% (過動脈炎、マルファン症候群など)

胎児心疾患の内訳

ファロー四徴症	50例
左心低形成症候群	45例
単心室	30例
完全大血管転位症	30例 など

分娩件数 (2014～2021年度)



左心低形成症候群の胎児心エコー



地域医療連携・院外活動

東京都より承認を受けた「地域医療支援病院」として、かかりつけ医の先生方と連携を図りながら紹介患者様と紹介医にきめ細やかに対応しています。

逆紹介率は約200%です。

SDGs (すべての人に健康と福祉を) を支援して、社会への発信に力を入れています。



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

地域医療連携

「地域医療支援病院」として病診連携・病病連携・市民や福祉との連携を図りながら、登録医・サテライトクリニックの先生方とともに、地域医療の充実を推進しています。

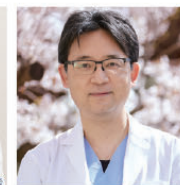
地域の先生方とは定期的な勉強会・講演会を実施し、全国向けのオンラインセミナーを開催しています。

紹介医に納得いただける診療を目指しています。

心臓病総合支援センターをご利用ください。



心臓病総合支援センター長
循環器内科副部長
心臓リハビリテーション室長
中山 敦子



循環器内科部長
医療連携室 室長
高見澤 格

心臓病総合支援センター

- 患者様からの相談窓口
- 医師、医療機関からの相談受付
- 就業・復職・就学支援
- かかりつけ医の紹介
- 福祉のご案内
- 市民公開講座の開催
- 医療者向け講演会の開催
- ITの利活用

遠隔心臓リハビリテーションなど、社会と連携して健康管理サービスを還元していくITを利用したシステムを開発しています。

厚生労働省のモデル事業に選定され、治療と職業生活の両立支援を続けています。

医師、社会福祉士、両立支援コーディネーター、臨床心理士、理学療法士、看護師が心臓リハビリを取り入れた総合的プログラムや両立支援外来を展開し、病院の多職種・職場・本人・家族をつなぐweb会議を行って、職場復帰・就業に成果をあげています。

院外活動による市民への発信・SDGsの支援

地域に密着した循環器専門病院として、市民向け、患者様向け、医療者向けに様々な催事を開催しています

キッズセミナー、料理教室、市民公開講座、蘇生教育コースを定期的に開催しています。スポーツジムとのコラボによる運動教室や薬局とのコラボによるお薬教室を企画、開催しています。



キッズセミナー
小中学生を対象に、当院の医療スタッフと対話しながら蘇生や皮膚縫合、カテーテル治療などの体験をしてもらうイベントを開催しています。



料理教室
日清医療食品とのコラボにより、高齢者の食事、心臓疾患児の食育、妊婦の食事など、心臓を守る健康レシピを紹介しています。

日本の循環器医療を担う人材の育成

全国からやる気溢れる循環器医(専修医)の応募をお待ちしています。
循環器医療の未来を守り、開拓する医療人の育成は榊原の重要なミッションです。
多くの卒業生が国内外の病院、医療機関で活躍しています。

循環器内科、心臓血管外科、循環器小児科で、後期研修の一環として、または専門医取得後のスキルアップのためのプログラムを組んでいます。経験と希望に応じて細やかな指導を実施します。シミュレーターや動物の心臓を用いたスキルスラボでの実地指導、各種セミナー、研究相談などプログラムは多彩です。全国から集まった約40名の専修医が研鑽を積んでいます。随時着任が可能です。



循環器内科 研修カリキュラム

後期研修プログラムの中で、あるいは後期研修修了後に研修を行うことができます。研修中に大学院に進学するコースも用意しています。研修期間は相談に応じます。

● 内科専門医コース(内科専門研修連携施設)

内科専門研修基幹施設から派遣された期間に応じて循環器の各領域をローテーションして個々の領域ごとに研修します。
領域: 虚血、末梢血管、不整脈、急性・慢性心不全、弁膜症、心筋症、心エコー、画像診断、心リハ、集中治療など

● 循環器専門医コース(内科専門医取得者)

はじめの1年間で循環器の各領域を研修します。
その後は希望する専攻領域を重点的に研修します。

● 指導医コース(循環器専門医取得者)

希望する専攻領域を重点的に研修します。

心臓血管外科 研修カリキュラム

[成人研修例]

1 年次	2 年次	3 年次
■ 第1助手 ■ 大動脈静脈採取 ■ 末梢血管手術 ■ 開胸 ■ カニキュレーション	■ 腹部大動脈瘤手術 ■ 閉胸 ■ 内胸動脈採取 ■ 人工血管置換術	■ 弁置換、弁形成術 ■ 大動脈解離手術 ■ 冠動脈バイパス術(CABG)

心臓血管外科専門医の取得はもちろんのこと、卒業後数年を考慮し多くの症例が経験できるように、成人心臓外科・小児心臓外科のローテーションを行っています。ローテーション後は、希望に応じてそれぞれの専門分野での研修に移行することも可能です。

先輩の言葉

榊原で多数の症例を学び、素晴らしい恩師・同世代の先生方に巡り合えたことが財産です。緊急・重症患者様を積極的に受け入れ、立ち向かう姿勢、小児科・外科との密な連携も魅力です。



自治医科大学附属病院副院長
循環器内科学部門 教授
今井 靖

榊原は心臓血管病における「プロ」の集まりです。本当の「プロ」から学んでください。チャンスの原石を見つけて本物の技術を榊原で磨いてみませんか?



熊本大学 心臓血管外科
教授
福井 寿啓

英国の循環器疾患の拠点(グレンフィールド病院)で診療を実施し、世界に向けて発信しています。私の臨床の原点は榊原です。多様なキャリアパスが可能な現在、日本また世界でも将来通用する高いレベルの研修からスタートすることが重要です。



英国レスター大学 循環器内科 教授
医学生命科学研究科 副研究科長
鈴木 亨

Message

患者様のご紹介をしてくださる先生方へ

私どもは救急診療、手術、カテーテル治療、画像診断などで、成人、小児、産科領域を問わず新しい技術を取り入れて、循環器診療を行ってまいりました。急患を断らず、地域に密着し、安全を追求する診療は開院以来の伝統です。患者様の信頼に応え、患者満足度を大切に診療しています。一人でも多くの患者様のお役に立てたいと思います。患者様にも紹介医にも納得いただける診療を目指しています。



院長
磯部 光章



理事長
矢崎 義雄

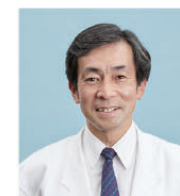
臨床研究所/研究委員会

臨床研究と新発見の発信を行っています。心臓再生医療の臨床試験や新しい弁形成法の開発治験なども実施しています。また、豊富な症例数を活かして新たな術式の開発、新規カテーテル治療やデバイスの治験なども積極的に行っています。年間の発表論文数は100件以上を数えます。

財団では一般公募による榊原研究助成(永井良三研究委員長)を行い、また国際的循環器英文雑誌"Heart and Vessels"(Impact Factor 2.037, 2021/22)の論文査読・編集(萩原誠久編集委員長)を担っています。



Volume 37 Number 9 September 2022



臨床研究所/臨床研修所 所長
細田 徹



榊原記念財団 研究委員会委員長
永井 良三

外来窓口

記念クリニック(新宿)は 榊原記念病院の外来窓口です

利便性の高い新宿西口にある記念クリニックでは、記念病院の専門医も外来を担当し、術前診断や術後管理を行うなど、病院と緊密に連携しています。緊急治療が必要な場合は記念病院に救急搬送します。慢性循環器疾患の通院加療、手術や入院治療が必要な方の紹介も受け付けます。



榊原記念クリニック院長
井口 信雄

患者様紹介のご案内

予約・紹介制

急患を除いて予約紹介制ですので、あらかじめご予約をお願いいたします。

お問い合わせ

◆医療機関様 専用番号

042-314-3142

平日 8:30~17:15

◆患者様 外来予約専用番号

0570-04-5489

平日 9:00~16:00

救急の場合(当日の受診が必要な場合)

予約は不要です

直接お電話にてご相談ください。(24時間対応)

042-314-3111

◆モバイルCCU要請(8:30~16:00)

専修医募集に関するお知らせ

<https://www.recruit.heart.or.jp/>

E-mail doctor@shi.heart.or.jp



新宿外来窓口

榊原記念クリニック

〒163-0804 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル4階

03-3344-3313 (代表)

診療日:月~土曜日

交通アクセス

電車 京王線 飛田給駅北口より徒歩約15分

西武多摩川線 多磨駅より徒歩約25分

車 中央自動車道 調布インターチェンジ出口より約5分

バス 京王線 飛田給駅より京王バス約5分

西武多摩川線 多磨駅より京王バス約6分

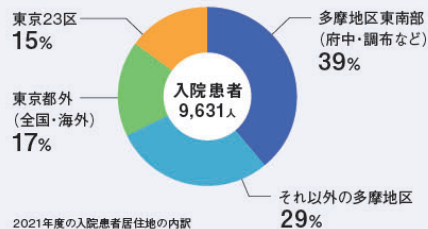
JR中央線 三鷹駅より小田急バス約30分

飛行機・ヘリコプター 調布飛行場より車で約10分



入院および外来受診された患者様の紹介文

東京や関東一円はもとより
全国各地からの患者様をお受けしています



公益財団法人 榊原記念財団 附属
榊原記念病院

〒183-0003 東京都府中市朝日町3-16-1

TEL | 042-314-3111 (代表) 042-314-3142 (医療連携室直通)
FAX | 042-314-3199 (医療連携室直通)

<https://www.hp.heart.or.jp>
お問い合わせ: kikaku@mail.heart.or.jp

